

浅口市議会 平成20年第3回 6月定例会 - 06月11日 - 04号

○議長（大西洋平） それでは、再開いたします。

次に、3番桑野和夫議員、どうぞ。

3番。

◆3番（桑野和夫） それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

今回、私はJR鴨方駅橋上化について、浅口市工業団地について、そして支所での住民サービスについて、妊婦健診について、それから下水道工事後の舗装について、この5点について質問をいたします。明快な答弁をお願いをいたします。

まず、JR鴨方駅橋上化についてであります。

JR鴨方駅橋上化及び南北の駅前広場の整備、加えて駅南の区画整理の道路事業、これを含めて約50億円ということですが、その具体的な内容について詳しく説明をお願いします。

また、駅橋上化と駅前広場の整備の、この金額の設計は市がしたのか、JRがしたのか、さらにこの事業に対して、JR側の費用負担はあるのかどうか、そして今後この工事の入札はどういった形でやるのか、お聞きをします。

加えて、企画財政部長にお聞きしますが、この事業は平成22年度で完了予定ですが、このころには実質公債費比率、要するに一般財源に占める償還金として支払う経費の割合であります、この比率が幾らになる予想をしてるのか、お聞きをします。

次に、工業団地について質問をします。

先ほどお話がありましたように、ことしの5月に金光と鴨方で説明会を実施しておりますが、その中で市民の皆さんから出された主な質問、意見について報告をお願いします。

それから、これも先ほど若干話がありました、マイクロものづくり関連企業を含めて、企業誘致の会議に市のほうも出席をされていますが、この会議ではどういう議論が今されておるのか、正確に報告をお願いします。

次に、支所での住民サービスについてお聞きをします。

浅口市は4月1日から機構改革を実施をしており、金光総合支所で総務振興課と生活環境課を統合し市民生活課に、寄島総合支所では総務振興課、生活環境課、健康福祉課を統合して市民生活課にしています。この機構改革によって、市民に直結をしたサービスの低下にならないか危惧をしていますが、見解をお聞きします。

そして、この機構改革であります、議会には事前に何ら説明がなく、議会軽視になるのではないかと思います、その辺についても見解をお聞きします。

また、支所でのバイクなどのプレートの交付または廃止手続、廃車手続、この事務であります、支所でできないものかお伺いをします。

さらには、婚姻届や死亡届等の各種届であります、支所では土曜日、日曜日と祝祭日、

そして平日の勤務時間外は届け出ができません。これを改善してほしいと思いますが、答弁を求めます。

次に、妊婦健診の無料の回数増と、この妊婦健診を県外での里帰り出産のときにも適用してほしいと思いますので、質問をします。

まず、妊婦健診無料の回数増であります。現在浅口市では5回無料で健診を受けることができます。これは昨年10月にスタートしており、県内の市町村ではいち早く回数増が図られ、子育ての支援策として大変喜ばれています。しかし、厚生労働省が望ましいとしている受診回数は14回ということでもありますから、安心して受診できるため、無料回数の増を求めたいと思います。

それから、実家での里帰り出産などに伴う健診であります。現在、無料で健診を受けることができるのは、岡山県内と福山市内の医療機関であります。数は把握しておりませんが、実際には少なくない方が里帰りをして出産をされることがあります。里帰りの時期によっては5回の無料健診が受けられない、こういうことも予想されます。よって、県外等での里帰り時の健診についても、この無料化適用を求めたいと思います。

最後、5点目ではありますが、下水道工事後の道路の舗装についてお聞きをします。

下水道工事が終わると、当然掘削した部分を中心に、原形復旧ということで舗装が行われますが、現在は掘削部分以外も含め、ほぼ道路全体の舗装がされます。しかし、以前は掘削した部分しか復旧がされていません。この違いはなぜなのか、お聞きをします。

以上、よろしくお願ひします。

○議長（大西洋平） それでは、J R鴨方駅橋上化について、栗原理事より答弁を求めます。

栗原理事。

◎理事（栗原英行） 鴨方駅橋上化についての工事費及び設計についての質問についてお答えいたします。

まず、鴨方駅の橋上化整備事業といたしまして、概略事業費として、駅南広場また北広場、自由通路及び橋上駅舎等に約20億円を予定しております。それと、区画整理事業内の幹線道路、準幹線道路及び旧福本屋の整備等に10億円を予定しております。これは、詳細設計をしたところもありますし、まだ概略設計というところもありますので、一応予定としての額でございます。

また、広場の設計、自由通路並びに区画整理地内の道路の設計におきましては市の事業でありまして、市の発注でございます。そのことにつきまして、今後まだ詳細に整備できてない部分につきましては、今後各関係機関と調整して、事業費等を確定していきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

○議長（大西洋平） 続きまして、公債費率並びに支所での住民サービスについて、企画財政部長より答弁を求めます。

企画財政部長。

◎企画財政部長（虫上敬一） それでは、実質公債費率、平成22年度の、これはあくまで推計でございます。17.4前後、18弱と、このように考えております。

それから、支所での住民サービスにつきましてお答えいたします。

合併の協議におきまして、総合支所の機能と本庁の機能の役割についてはいろいろと調整が図られてまいりました。議員さんも十分御承知のこととっております。

住民サービスや窓口業務につきましては、総合支所の中にその機能を残し、サービスを維持していくこととしております。しかしながら、行財政の効率化を進めることも、新市に課せられた課題であります。この効率化の作業は組織を活性化するとともに、住民ニーズに対応したものとなるよう努める必要がございます。それによって、他の部門のサービス向上につなげることにもなろうかと考えております。いずれにいたしましても、支所の機能と本庁の機能の集約のバランス及び総合支所のサービスの維持の問題でありまして、執行部といたしましてもいろいろと苦心をしているところでございます。

議員さんが御指摘のように、本年4月に総合支所の一部の課を統合したところでございますが、各所では市民に対する窓口の対応が低下しないように努めているところでございます。よろしく御理解を賜りたいと思います。

○議長（大西洋平） 続きまして、支所でプレート交付や廃止の事務、各種届け出の受理について、生活環境部長より答弁を求めます。

生活環境部長。

◎生活環境部長（鈴木憲夫） それでは、お答え申し上げます。

まず第1点目の、支所でプレートの交付や廃止の手続についてという御質問でございました。

昨年度の原動機付自転車等の登録台数は、約500台でございました。月平均約40台余りの交付をしておるところでございます。このプレートにつきましては、御承知のように通し番号でございますので、何番から何番までは本庁、何番から何番までは金光支所といったぐあいに分けることは、管理する面からおいても問題があると我々は思っております。

そして、合併時において、賦課は本庁一括で行うということにしておりまして、このことは住民の方にも御協力とか御理解をいただきながら、現在その事務を進めております。

それと、ちなみにプレートの申請交付に来られる方というのは、今現在9割近くが販売店の方が来られるように聞いております。したがって、プレートの交付並びに廃止につきましては、本庁で今後もさせていただきたいというふうに考えております。

2点目の各種届け出、婚姻とか死亡等の受理でございまして、閉庁時間に届け出に来られる方は、昨年度で約300件ございました。これ、時間外に来られた方でございます。

本庁では土曜日、日曜日、祝日は宿直は2名おられて、その宿直の方で受け付け事務をしていただいております。土曜日、日曜日、祝日は日直は職員が2名でやっております。あとの夜間については、宿直員2名でやっております。

しかしながら、金光、寄島の支所につきましては、閉庁時間はすべて1名の宿直員で行っていただいております。それで、先ほど年間約300件の届け出がありましたけれど、その約3分の2、200件が死亡届でございます。この死亡届につきましては、火葬場の予約とか火葬許可証の交付、火葬場使用料の徴収等の事務もでございます。したがって、閉庁時間に支所でしていただくのは、我々は困難と考えております。また、この届け出書等には、他人に知られたくない個人情報も記載されており、なるべく職員以外の方が取り扱うことは最小限度にとどめたいというふうに考えております。合併後、現行の体制で行っており、住民の方にも御理解をいただいて、その受け付け事務が円滑にされるよう、今後も努力していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 続きまして、浅口市工業団地について、産業建設部長より答弁を求めます。

産業建設部長。

◎産業建設部長（流尾広秋） それでは、説明会の意見について御説明をさせていただきます。

まず、地権者の方に対しましての説明会を、昨年9月及び10月に行っております。市民の皆様につきましては、先月の5月20日と21日の両日、事情説明会を実施いたしましたところでございます。

なお、この説明会におきまして、市民の皆様からさまざまな貴重な意見をいただいております。その意見の内容といたしましては、工業団地までのアクセス道路の改良またはその状況、予定、こういったものがどうかといったこと、またはエリア内の農地における開発の是非、文化財調査や地質調査等の対応または方法について、財政面での対応方法、そういったことがございました。あわせて、工業団地で発生いたします残土埋め立てをといた水利権の放棄、そういった意見もございました。中には、昨年と全く同様の説明であり、進捗状況が悪いのではないかと、遅いのではないかと、こういった意見もいただいております。

市といたしましては、できる範囲で皆様の御意見を反映しながら、また意見に配慮しながら事業を進めてまいりたいと考えているところでございます。特に、工業団地は事業の性質上、道路整備事業とは異なり、一段の面整備が必要な事業でございます。この点におきましては、関係者、地権者、皆様の同意が不可欠な事業でありますので、皆様の御意見を踏まえつつ、今後の造成、実施設計の策定に反映してまいりたいと考えているところでございます。

次に、マイクロものづくり準備会との協議についてでございますが、市といたしましては、県内の超精密加工分野企業11社で構成されております、マイクロものづくり岡山工業団地準備会を、現段階では西地区の第1の立地企業群と想定して事業を進めているところでございます。この準備会でございますが、岡山県産業振興財団が事務局に当たっており、市

と財団双方の情報伝達が迅速かつ確実に行われるよう、また西地区の整備が計画どおり進むよう、今年度から1名の市職員を財団に派遣しているところでございます。

なお、準備会の現在の状況でございますが、今年度におきましては県外、特に広島県の優良企業等にも参加を呼びかけ、最終的には20社程度の企業の参加を目標として、その後、組合の設立を考えているように財団からはお聞きいたしております。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 続きまして、妊婦の無料健診についてを、健康福祉部長より答弁を求めます。

健康福祉部長。

◎健康福祉部長（安田哲夫） 失礼いたします。それでは、私のほうからは妊婦無料健診の件につきましてお答えをさせていただきます。

妊婦健康診査の公費負担事業につきましては、健診費用が保険適用になっておりません。妊婦さんにとって大変負担が大きいということで、浅口市では昨年度から無料健診の回数を2回から5回に変更をしております。また、本年4月からは、1回目の健診の内容に子宮がん検診を取り入れました。それから、5回すべての健診に、超音波検診を含む等の内容を盛り込みまして、充実をさせております。

公費負担の回数が、岡山県北部では5回以上の市町村が何団体かありますが、県南では、先日倉敷が14回にするということがありましたが、それ以外の市町村すべてが5回以内となっております。浅口市におきましては、5回にしてからまだ1年もたっておりませんので、当面5回のままで、今後周辺市町の動向も踏まえながら検討をしていきたいと考えております。

次に、里帰り出産への対応でございますが、昨年までは回数が2回ということもあって、里帰りで使いたいという声を余り聞きませんでした。このたび無料券の回数がふえて、里帰りでの利用希望も出てきておりますので、今後は償還払い等で対応できるよう検討をしてみたいと思っております。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 次に、下水道工事後の道路の舗装についてを、上下水道部長、答弁を求めます。

上下水道部長。

◎上下水道部長（大島安隆） 下水道工事後の道路の舗装についてお答えをいたします。

下水道工事後に行います舗装の復旧につきましては、下水道工事で影響を及ぼす範囲についてのみ施工を行うことを基本としております。今後とも、現場の状況等を踏まえながら、道路管理者と調整を図りながら、下水道工事を行いたいと考えております。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 再質問はありますか。

（3番「答弁漏れがありますので。鴨方駅のことでは、駅の関

係の設計は市がしたのか、JRがしたのかという点と、この入札はどうするのかという点とJRの費用負担がどうなのかという点、それから機構改革では、議会に説明がなかったという点について答弁がなかったんでお願いします」の声あり)

答弁漏れの再度答弁を求めます。

栗原理事。

◎理事（栗原英行） それでは、駅の費用負担のことにつきましては、JRの駅舎につきましては、用地補償及びその中の機能回復ということを考えております。これにつきまして、まだ今後協議の段階でございますので、協議ができましたらここで御報告ができると思います。

それから、駅の設計でございますけど、これにつきましては、市のほうにおきましては、市の要望をJR側に伝えるため、概略設計というのをやっております。しかし、JRのほうにいたしましては、民間企業でもありますので、営利のこともございまして、詳細設計というのをJRのほうで、その市の概略設計をもとにしてやると思います。

（1番「錢だけ出してやるんか」の声あり）

それから、入札方法につきましては、市の施工部分においては市で実施いたします。それから国道側、国土交通省の管理部分につきましては国交省、それとJRの用地内につきましては、JR側の委託工事という形になろうと思います。

以上です。

○議長（大西洋平） 次に、支所での住民サービスについて答弁漏れがありましたので、企画財政部長より再度答弁を求めます。

企画財政部長。

◎企画財政部長（虫上敬一） 機構改革につきまして、議会へ説明がなかったということで、議会軽視じゃないかという御質問ですが、これは急遽機構改革を決定いたしました。そのために、このような形をとりました。今後は気をつけたいと、こう思っております。よろしく申し上げます。

○議長（大西洋平） 再質問ありますか。

どうぞ、3番。

◆3番（桑野和夫） まず、JR鴨方駅周辺整備であります。私はこの事業に、そのものに反対ではありません。しかし、膨大な経費がかかる以上、あくまで慎重に、そして財政状況に照らして、分相応に実施をしていく必要があると考えています。

先ほど企画財政部長の答弁で、平成23年度ごろに実質公債費率が18%近くになるという説明がありましたが、これは工業団地の事業は入ってませんね、確認だけ。

（企画財政部長「お答えします。3月12日の全協のときに御説明いたしました。このときに、工業団地の関係の数値も入れたもので報告いたしました。以上です」の声あり）

◆3番（桑野和夫） それで、数字が……。

(「1番入れとりゃあへんじゃねえか、うそつくな」の声あり)

○議長(大西洋平) ちょっと、はい。

◆3番(桑野和夫) 18か、超えると、超える可能性もあるということではありますが、来年度から財政健全化法が全面施行されますが、その基準で言いますと、実質公債費率は18%までがガイドライン、それを超えると起債、要するに借金をするのが、県との関係で言いますと、協議制から許可制になります。そして、県に公債費適正化計画を出すことになります。端的に言いますと、JR鴨方駅周辺整備が完了するころには、例えば新市建設計画の中にある金光や寄島の起債事業はできなくなる可能性がある、こういうことだと思います。

加えて、この事業は合併特例債事業でありますから、起債のうち約70%は交付税措置をされることとなりますが、しかし国の交付税の特別会計は、今54兆円の赤字とされています。今後、きちんと交付税措置がされるかどうかは、私は疑問であります。

こういったことが、私はこの事業は経費を最小限に抑えるために、必要な見直しをすることが大事だと思います。例えば、自由通路みたいな立派なものが必要なかどうか、それから平均乗車率が3人のバス路線に立派なバスステーションが必要なかどうか、このあたりも含めて見直す気持ちがあるかどうか、お聞きをします。

また、JRへの委託部門について、当然入札はJRがするんでしょうけども、その入札に市の意見が関与できるかどうか、お聞きをします。また、工事の下請をする業者について、これについても市の意見が関与できるかできんのかどうか、お聞きをします。

また、このJRの橋上化の事業によって、JR側もメリットがあると思いますが、なぜJRの費用負担が明確でないのか、費用負担を求めることができないのかどうか、お聞きをします。

それから、機構改革であります、市の説明など広報紙を見ますと、増大する行政需要の対応や、簡素で効率的な執行体制を目指すという説明であります。もちろん、徹底をして無駄をなくすということは重要であります、しかし、増大する行政需要に対応するというのと簡素な体制をつくるということ、これは相反するのではないかと思います、どう理解すればいいのかお聞きをします。私は支所でのサービスと支所の機能は強化することが大事だと思いますので、再度答弁を求めます。

それから、プレートの交付及び廃車手続であります、当然管理上、それから賦課する上で一括管理が必要なんかもしれないかもしれませんが、それは今後議論するとして、廃車につきましては賦課する必要もないし、それぞれが支所に返せばいいわけです。これはそう管理上問題ないと思います。特に、登録は業者の方がたくさん行かれるんでしょうけども、廃止の場合はお年寄りの皆さんが、例えば支所の場合、バスや電車を使って本庁まで来るということになりますから、これは当然改善をしてほしいというふうに思います。

それから、婚姻届等の届け出であります、プライバシーの問題を言われましたが、実際に本庁では、5時以降は2名で受けてると。人数が支所の場合1名ということで、違う

だけでありまして、そうプライバシーの問題は、そういうことを問題にするのであれば問題ないと思いますが、これについては今後議論したいと思います。

それから、妊婦健診の里帰り出産時の適用であります。ぜひ早急をお願いしたいと思います。

それから、下水道工事後の道路の舗装であります。恐らくこれは平成15年度ぐらいを境にして、一定基準が変わってきとんではないかと思えます。古い事業の舗装が下水道事業でできないのであれば、他の方法で昔の工事と今の工事の差を解消してほしいと思えます。具体的な場所がありますが、例えば金光町の大谷の加茂池団地から金光教の図書館の西を結ぶ道路、それから金光町占見新田の睦会の道路、それから金光町の八重沖の道路などがあります。ぜひ検討をお願いします。

以上、よろしくをお願いします。

○議長（大西洋平） どうぞ。

◎企画財政部長（虫上敬一） 先ほど申し上げました工業団地が実質公債費率の中に推計されてるのかということで、私が勘違いしとりました。これは入っておりません。

以上でございます。

○議長（大西洋平） それでは、JR鴨方駅橋上化について、栗原理事より再度答弁を求めます。

栗原理事。

◎理事（栗原英行） まず、自由通路及び駅舎の必要性ということでございますけど、駅周辺整備事業といたしましては、駅の交通の利便性、また安全性の向上及び駅周辺の土地の利用効果の促進ということを目的に上げております。

それと、交通結節点の強化を図るために南北通路、駅広場を整備するというので、交通手段の円滑化を図り、市の玄関口にふさわしい都市拠点の形成を図るということを目指して、市の玄関口にふさわしい、シンボル性の高い、景観を配慮した事業と考えております。

続きまして、JRの入札について市の意見が関与できるか、また市の業者の下請は可能かということでございますけど、JR部分の工事につきましては、JRの社内方針により発注されると考えております。これにつきましては、下請につきましては、市のほうからこういう業者がおりますよという案は出せるとは思いますが、それについての考え方は、JRの考え方になろうかと考えております。

続きまして、駅舎についての費用負担の明確さ、これにつきましては今後JRとの協議の中で、どこがどうなるというのは検討していきますし、また議会の中でもお答えしていく所存でございます。

済みません。何か落ちがありますか。

（3番「よろしいです」の声あり）

ありがとうございます。

○議長（大西洋平） 次に、支所での住民サービスについて、企画財政部長、再度答弁を求めます。

企画財政部長。

◎企画財政部長（虫上敬一） 増大する行政需要、それから簡素化、これについてのアンバランス、いかにするかということでございますが、なかなかこれも答弁いたしましたとおり、苦心をしております。しかしながら、本庁機能のある程度は集約しないといけないのかなという気は持っておりますけど、今後勉強したいと考えております。

以上でございます。

○議長（大西洋平） 続きまして、各種届け出の受理について、生活環境部長より答弁を求めます。

生活環境部長。

◎生活環境部長（鈴木憲夫） お答え申し上げます。

先ほどナンバープレートの、交付についてはともかくとして、廃車、廃止についての事務を支所のほうでという御質問でございました。特に、廃車がどのぐらいあるんかとか、あるいは廃車と新たに交付と、そういったケースが多々あるかと思えます。廃車して新たにナンバープレートを交付する場合は、特にそういった場合は業者の方がお見えになれるから、これは問題ないと思えますけれど、ただ廃車だけということについて、不便をかけておるといこともございます。そういったことも踏まえまして、これから支所とよく、その点についてはちょっと協議させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（大西洋平） それでは、妊婦無料健診について、健康福祉部長より再度答弁を求めます。

健康福祉部長。

◎健康福祉部長（安田哲夫） それでは、お答えを申し上げます。

答えとして、そんなに変わった答えが出るわけではございませんが、5回の健診につきましては、先ほども言いましたように、まだ決めて1年もたっていないということで、これはしばらくの間、様子を見させていただきたいというふうに考えております。

ただ、里帰り出産の件につきましては、手続方法等研究をいたしまして、できるものならできるだけ早く実施をしたいと考えております。

以上でございます。

次に、下水道工事後の道路の舗装についてを、上下水道部長より答弁を求めます。

上下水道部長。

◎上下水道部長（大島安隆） お答えをいたします。

工事完成後2年間については、瑕疵担保があります。2年以上たった箇所につきましては、道路管理者等協議いたしまして、対応していきたいと考えております。

以上です。

○議長（大西洋平） 再々質問ありますか。

3番。

◆3番（桑野和夫） それでは、市長にお聞きします。

J R鴨方駅の整備事業であります、これをこのままの規模を進めると財政状況が悪くなる、そういった予測のもとで、市長としてこの事業を見直すつもりがあるのかないのか、また新市建設計画での他の事業との関連でどういうお気持ちなのか、お聞きをします。

それから、工業団地につきましては、あくまで慎重にということを要望して、質問を終わります。

○議長（大西洋平） 企画財政部長。

◎企画財政部長（虫上敬一） ちょっと説明不足がありましたので、説明させていただきます。

工業団地の件なんです、実質公債費率を推移するときに、今考えておるのは、出しておる数値につきましては、実施設計まではこの実質公債費率の推計に入れております。それ以降、用地買収、工事等につきましては推計をしておりません。そういうことで御理解をお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（大西洋平） それで3番さん、1番と2番だけでよろしいですか、市長の答弁は。

（3番「はい、結構です」の声あり）

それでは、J R鴨方駅橋上化について、そして浅口市工業団地について、市長より答弁を求めます。

市長。

◎市長（田主智彦） J R鴨方駅の橋上化工事ですが、これは旧鴨方町のときから始まりましたことで、私の記憶では平成5年ぐらいから、このことがぼつぼつ事業として話題に上ってきたように記憶しております。もっと簡素に、廉価にできる方法を考えてはどうかということですが、気持ちは十分ありますし、そのことは担当部局へ指示をしております。

御承知のように中庄駅が11億円、北長瀬、就実学園が二、三億円、大体漏れ聞くところではその程度でできたというふう聞いておりますので、当然鴨方駅もそのぐらいで私もできると思っておりましたし、またそのような事業費で済ませたく希望はしておりました。

実際に聞いてみますと、駅そのものは五、六億円だそうです。ただ、国道をまたいで周辺整備といいたいでしょうか、当然、向こうから駅へお入りいただくには自由通路をつくらなきゃいけない、また北側にも駅の移転に伴って工事をしなきゃいけない、何やかにやで合算すると、そういう大きな数字になるということでございまして、繰り返しますが、少しでも安くということでJ Rと今交渉してると思いますし、担当も努力をしているところであります。

これが借金として全部残るわけじゃありません。合併特例債とまちづくりのほうで対応いたしますので、残債とすれば、借金とすれば、もちろん10億円までいかないと思います。したがって、30億円がそのまま借金で残るのではないかと、住民の方は御心配なさっておられると思いますので、議員さんはよく御存じのわけでありますが、そのことにつきましても、再度また次の機会にでも担当から御説明させていただきたいと思います。

工業団地につきましては、これはいろいろ意見があるわけでありまして、先ほどもやるということは私の仕事ですということを申し上げました。今、日本が行き詰まりつつある、その中でそれを打開するキーワードは地方分権と、こういうふうに言われております。我々にも財源をどういうふうにお与えいただくのか、どういうふうな行政を強いられるのかわかりませんが、しかしいずれにしても、国は国としての仕事を残し、後は地方が独立独歩せよというようなことにいずれはなるであろうと思います。政治形態も道州制が取り入れられ、合併が一段と、聞くところによりますと300程度の基礎自治体にするということですが、これはあくまでも中央の話でありますのでわかりかねますが、そのようになってくるとは、非常に厳しさが見えますので、我々も何かそこで自立する材料を探さなきゃいけないということで、先ほど来申しております地方の衰退をこれから挽回するとか、新しい未来を開くのはやはりそういう経済的なものと、もう一つはヨーロッパがおやりになっているような、福祉や文化で地域を再生させるとか、元気にさせるという方法のような気がいたします。これはまた皆さんのお知恵をかりて、どういう方法が一番いいか、どういう比率がいいかということは御指導をいただければと思います。

それだけでよろしいかと思えます。4番目の、担当部長が申し上げましたが、御提案がありましたので、この御提案に沿うべく努力をさせていただこうと思えます。今広島県の東のほうの医師会と委託契約をしているようですが、浅口市にお嫁に来られて北海道へ帰られる、九州へ帰られる方もおられるわけですから、そういう方々にも親切な対応が要ると思いますので、努力いたします。

以上です。